

平成 29 年 5 月 16 日
独立行政法人国立美術館
東京国立近代美術館

民間競争入札実施状況

東京国立近代美術館フィルムセンターの管理・運営業務実施状況について

1 事業の概要

(1) 委託業務内容

東京国立近代美術館フィルムセンターの管理・運営業務

統括管理業務、建築設備維持管理業務、清掃業務、廃棄物処理業務、
運営支援業務

(2) 業務委託期間

平成 27 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日

(3) 受託事業者

東京国立近代美術館管理運営共同企業体

代表企業 株式会社シミズ・ビルライフケア

構成員 株式会社 K S P ・ W E S T

株式会社要興業

(4) 受託事業者決定の経緯等

平成 26 年 11 月 18 日「東京国立近代美術館フィルムセンターの管理・運営業務民間競争入札実施要項」に基づき、総合評価方式による入札を実施したところ、2 者から入札参加表明があった。入札参加表明書等について審査した結果、入札参加資格を満たしていたため、この 2 者から入札書及び提案書を提出させた。

提案書については、平成 27 年 2 月 26 日に開催した外部有識者からなる東京国立近代美術館官民競争入札等評価委員会において、基礎項目を満たしているか否かを審査した結果、いずれも満たしていたため、基礎点を付した。引き続き同委員会において、加点項目について審査し、入札参加表明者に加点を付し、基礎点及び加点の合計を入札価格で除して得られた総合評価値を算出した。

入札金額については、平成 27 年 3 月 3 日に入札書を開札したところ、1 者が予定価格の範囲内の価格が提示され、上記の受託事業者が落札者となり、平成 27 年度からの 3 年間の契約を行っている。

2 対象公共サービス（東京国立近代美術館フィルムセンターの管理・運営業務）の実施内容に関する状況及び評価

（１）管理・運営業務の質（包括的な質）

項目	要求事項	評価指標	要求水準及び結果
継続性・安定性の確保	対象施設を継続的、安定的な利用に供すること。	対象施設の一時的閉館や開館不能の状態を招くような重大な業務上の瑕疵の発生	水準：０回 平成２７年度：０回 平成２８年度：０回
信頼性の確保	対象施設の運営に重要な支障を与えないこと。	対象施設の運営に重要な影響を与える業務上の瑕疵による事象（人身事故、作品の損傷・紛失等）の発生	水準：０回 平成２７年度：０回 平成２８年度：０回
快適性の確保	施設が快適で清潔な環境に保たれていること。会場管理業務が適切に行われていること。	アンケートによる観客の ①「清掃状況」、 ②「館内スタッフの対応」、 ③「警備・誘導状況」の満足度	水準：７０％ 平成２７年度： ①９８．９％ ②９８．４％ ③９７．１％ 総括９８．１％ 平成２８年度： ①９９．６％ ②９８．６％ ③９８．５％ 総括９８．９％

（２）各業務において確保すべき質

各業務について、日常モニタリング（業務日誌及び月次報告等）、定期モニタリング（巡回及びヒアリング等）及び臨時モニタリング（巡回）を実施している。

① 統括管理業務

ア 統括管理責任者は、本業務全体を総合的に把握し調整を行い、発注者と密に連絡をとること。

実施結果	平成２７年度及び平成２８年度において、月次報告書、定例打合せ、モニタリング等から、仕様書に従い、統括管理業務が確実かつ適切に実施されていたと認められる。 当館には、施設設備について専門的知識技術を有する職員がいないことから、施設設備の維持管理に万全を期すことが困難な状況になっていたが、平成２７年度から本業務を受託した事業者は、統括管理業務、建築設備維持管理業務、清掃業務、廃棄物処理業務及び運営支援業務について、それぞれ専門的ノウハウを有し、各業務を円滑にするために、入札時に提出された提案書を踏まえ、統括管理業務を遂行している。中でも、会社を挙げた統括管理業務（統括管理責任者）へのバックアップ体制については、本社がフィルムセンター近隣でもあることから細かく行き届いており、頻発する老朽化した施設の不具合に対する調査・改善提案・対応工事、各種催事が重複した際の必要に応じた本社職員の派遣による人的フォロー、近隣ビル解体・建設工事に際しての助言・連絡調整などがなされている。
------	--

	また、特に各業務においては、前事業者からの引継事項を検証して見直し事項を加えた独自のマニュアル作成を主導し、月間工程表及び月間チェックリスト等により確実に各業務を遂行させており、受託業務全体の的確な実施に努めている。館職員との連携も密にとられ、上映会・展覧会・教育普及事業・貸出等事業などの開催に際しては、館職員と事前に観客誘導等に対して綿密な打合せを行った上で運営支援業務を遂行させており、館職員の現場での業務量が軽減したほか、観客アンケートからも高い評価を受けている。 各工事に際しての館職員及び業者間の連絡調整、防災対策、セキュリティ対策についても貢献し、深夜作業への立会い、防災センターを通じた夜間の緊急出動も行っている。こうしたフィルムセンター設備の維持改善に貢献したことも評価される。
--	--

② 建築設備維持管理業務

- ア 指定された業務内容を実施し、建築物等の機能及び劣化の状態を調査し、異常又は劣化がある場合は、必要に応じ対応措置を判断し実行すること。
- イ 建物等の点検を行い、点検等により発見された建築物等の不良箇所の修繕や部品交換等により建築物等の性能を常時適切な状態に保つこと。
- ウ 建築物における衛生的環境の確保に関する法律（昭和45年法律第20号）を遵守し、各測定等を行い、測定の結果、管理基準に適合しない場合には、その原因を推定し、発注者の施設管理責任者に報告を行うこと。
- エ 施設内の照度については、定期的に計測し、施設の利用者（職員、施設利用者等）に対して、事務等に支障がないようにすること。

実施結果	平成27年度及び平成28年度において、業務日誌、月次報告書、定例打合せ、モニタリング等から、仕様書に従い、建築設備維持管理業務が確実かつ適切に実施されていたと認められる。 特に省エネルギー化の提案・実施について、電気使用量は市場化テスト導入前の平成22年度と比較して、平成27年度及び平成28年度の平均で約10%削減できているほか、水道使用量についても、同様に約8%削減できている。これらは、業務を開始してからこれまでの運用を見直し、空調機運転の細分化による運転時間短縮、空調配管バルブの時間単位での微調整、照明運用の細分化、全館トイレ水量調整による効率化運用など、詳細な制御マニュアルを作成し実施したことによるもので評価できる。 点検業務については、法定点検に加え自主点検項目を見直して細分化し充実させている。この結果、これまで見過ごされていた収蔵庫系統空調機ドレン配管詰まりの発見・対応措置、改正フロン法に対応した空調機の修繕・点検項目変更、収蔵庫空調機不具合の早期発見・対応措置による作品保全、映写室温湿度管理のための空調機運用方法変更の提案、通用口電気錠の不具合の発見・対応措置、近隣ビル解体工事に伴う空調室外機汚染への対応措置、設備改修等による法定点検の見直し・実施に繋がっている。これらは、フィルムセンター建物施設特有の、観客観覧環境及び作品保存環境の的確化にも結びついており、評価できる。 また、高所管球交換の見直し提案による経費削減、電気設備改修工事に伴う既存電力盤変更提案による電力安定化及び停電作業立会等の連絡調整対応なども建築設備維持管理業務として評価される。
------	---

【電気】

年度	使用量		料金		備考
	使用量 (kWh)	削減率	税込額 (円)	税抜概算額 (千円)	
22	1,320,797	—	22,950,131	21,857	市場化テスト導入前
27	1,160,400	▲12.14%	24,958,316	23,110	22年度と比較
28	1,211,497	▲ 8.36%	20,160,729	18,667	〃
平均 (27-28)	1,185,367	▲10.25%	22,559,523	20,888	〃

【水道】

年度	使用量		料金		備考
	使用量 (m ³)	削減率	税込額 (円)	税抜概算額 (千円)	
22	3,264	—	1,812,115	1,726	市場化テスト導入前
27	3,218	▲ 1.40%	1,827,835	1,692	22年度と比較
28	2,818	▲13.66%	1,628,134	1,508	〃
平均 (27-28)	3,018	▲ 7.53%	1,727,985	1,600	〃

※第1期市場化テスト導入時（24～26年度）は23年度中に準備をしていたため、22年度のデータを比較対象としていた。このため今回も22年度を比較対象とした。

※税抜概算額は、税込額を税率（1.08または1.05）で除して千円で単位四捨五入している。

※電気料金については、供給事業者を毎年度入札により決定しており、27年度と28年度では契約単価が異なり28年度の方が安くなっている。

③ 清掃業務

ア 指定された業務内容を実施し、施設内外の汚れを除去し、又は汚れを予防することにより、快適な環境を保つこと。

実施結果	平成27年度及び平成28年度において、業務日誌、月次報告書、定例打合せ、モニタリング等から、仕様書に従い、清掃業務が確実かつ適切に実施されていたと認められる。 特に建物施設の日々の使用時間に合わせた定期的清掃スケジュールに加えて、上映ホール運用時間等に合わせた臨時的対応もなされている。また、自主的にISO9000に準じた定期的な改善提案を含む品質チェックが行われている。こうしたことは、アンケート評価の高い満足度にも結びついており評価できる。
------	--

④ 廃棄物処理業務

ア 廃棄物は指定の方法により分別し、関係法令等に定められた方法により適切に処理すること。

実施結果	平成２７年度及び平成２８年度において、業務日誌、月次報告書、定例打合せ、モニタリング等から、仕様書に従い、廃棄物処理業務が確実かつ適切に実施されていたと認められる。平成２８年度に行われた中央区清掃事務所の立入検査においても、問題点は指摘されていない。
------	---

⑤ 運営支援業務

ア 施設及び敷地内の秩序及び規則を維持し、盗難、破壊等の犯罪及び火災等の災害の発生を警戒・防止することにより、施設利用者（職員、施設利用者等）の安全かつ円滑な執務環境の確保や保全を図るとともに、安全を守ることを目指し、誠意をもって行うこと。

実施結果	平成２７年度及び平成２８年度において、業務日誌、月次報告書、定例打合せ、モニタリング等から、仕様書に従い、運営支援業務が確実かつ適切に実施されていたと認められる。 上映会及び展覧会の計画に応じて、上映ホールへの観覧者の入退場時の適切な誘導及び展示室での観覧者の観覧に支障を及ぼさない適切な監視位置の設定により、観覧者サービスの一助となった。特に「ＰＦＦ（ぴあフィルムフェスティバル）」「ＥＵフィルムデーズ」等の共催の上映会においては、通常と異なる上映時間、券売方法、観客層等への対応が求められる中、館職員及び共催者と詳細な打合せを重ねて自主的にスタッフ配置を工夫して円滑な事業運営に寄与したことは評価できる。 また、別受託者の映写技師とも連携し、映画フィルム特有のフィルム切れによる上映中断などに対応した対応マニュアルを作成したことにより、トラブル発生時に速やかな対応がとれるようになったことは、観覧者サービスの一助となったこととして評価される。
------	--

⑥ その他

ア 施設の保安に係る情報及び個人情報を漏洩しないこと。

実施結果	平成２７年度及び平成２８年度において、施設の保安に係る情報及び個人情報の漏洩は発生していない。
------	---

（３）民間事業者からの主たる改善提案に関する実施・評価

管理・運営業務全般に関する主な改善提案

● 花一輪運動の実施

事業者独自の提案・負担により、全館のトイレに花を飾っている。観客アンケートにおいても高評価であり、「癒される」などの意見が寄せられている。

(4) 実施経費等の状況及び評価

【経費】

[単位：千円]

	22 年度	27 年度	28 年度	備考
建築設備維持管理業務	25,491	24,915	25,975	28 年度は 27 年度より高所管球交換及び空調用エアフィルター交換作業を増やした
清掃業務	5,600	6,256	6,288	22 年度は、ホール椅子清掃及び窓ガラス特別清掃を未実施
廃棄物処理業務	186	277	213	開館日数、観客数の増減で毎年度排出量が異なる
運営支援業務	35,101	22,148	20,722	市場化テスト導入にあたり、配置人数の見直し（現場責任者 1 ポスト減等）を行っている
統括管理業務	—	10,800	10,800	市場化テスト導入にあたり、統括管理業務を追加
合計	66,378	64,396	63,998	経費は、全て税抜き額としている（税込額を税率で除して算出）。
削減額 〈削減率〉		1,982 〈2.99%〉	2,380 〈3.59%〉	

※第 1 期市場化テスト導入時（24～26 年度）は 23 年度中に準備をしていたため、22 年度のデータを比較対象としていた。このため今回も 22 年度を比較対象とした。

【評価】

平成 24 年度の市場化テスト導入に際しては、新たに統括管理業務（税抜 10,800 千円）を追加したこと、建築設備維持管理業務の内容変更（昼間 2 名・夜間 1 名を、終日 2 ポストに変更）、空調設備屋外機薬品洗浄（税抜 175 千円）及び高所照明管球交換作業（税抜 700 千円）の追加、並びに清掃業務について 22 年度に行っていないホール椅子特別清掃（税抜 300 千円）及び特別清掃（窓ガラス清掃他）（税抜 160 千円）を行っている。

こうした追加業務を加えた経費総額（税抜）が、平成 22 年度と比較して、平成 27 年度では 1,982 千円（約 3%）の減額、平成 28 年度では 2,380 千円（約 4%）の減額となっている。

また、電気使用量については、平成 27・28 年度の平均実績が、22 年度に比べて約 10% の削減を達成しており、水道使用量についても平成 27・28 年度の平均実績が、22 年度に比べて約 8% の削減を達成している。

高所管球交換については、契約上毎年行う設定であったが、実際に点灯時間から再計算し、3 年に 1 度の交換の提案を受けて採用した。3 年間で 1,512 千円の経費節減が見込まれる。

3 総合評価と今後の事業について

(1) 総合評価について

市場化テストの実施は2期目にあたり、契約事務の軽減、統括管理業務の導入による事務と委託業務の効率化、民間事業者の相互連携の推進による適確な業務の実施とともに、それぞれの業務の専門知識を基にした適確な提案による施設設備維持管理と観覧環境の向上に寄与した。

また、仕様書水準を満たすサービスの質を達成しつつ、統括管理業務の一元的な管理のもとフィルムセンター特有の観客対応と施設の保全に万全を期すことができた。

(2) 今後の事業について

本事業の市場化テストは今期が2期目であるが、事業全体を通した実施状況は以下のとおりである。

- ① 実施期間中に受託事業者が業務にかかる法令違反行為等を行った実績はなかった。
- ② 当館には、外部有識者（公認会計士、一級建築士等）で構成された「東京国立近代美術館官民競争入札等評価委員会」が既に設置されており、その枠組みの中でチェックを受ける体制が整っている。
- ③ 1期目（平成24年度から平成26年度まで）は、映写という特殊性や専門性の高い上映関係業務が含まれていたため、その特殊性が参画を阻害した面があり、応札が1者だったと思われる。しかし、2期目においては、上映関係業務を除外したことにより、2者の応札があり、競争性が確保された。
- ④ 市場化の導入により複数の業務が一本化され、契約事務をはじめとする事務量の削減・効率化が図られた。特に統括管理責任者を通じて各業務担当者に的確に反映することにより、建物施設の安全性が保たれ、館職員の業務軽減、現場の指示系統効率化に繋がったと考えている。
- ⑤ 対象公共サービスの確保されるべき質に係る目標について達成している。
- ⑥ 市場化テスト前の平成22年度と比較し、統括管理業務の追加、建築設備維持管理業務の一部追加、清掃業務の一部追加にも関わらず、経費について平成27年度は1,982千円（約3%）の減額、平成28年度は2,380千円（約4%）の減額となっている。いずれも税抜額での比較であるが、実質的に効率化が行えていると考えている。

以上のことから、東京国立近代美術館フィルムセンターの管理・運営業務については、「市場化テスト終了プロセス及び新プロセス運用に関する指針」の「市場化テスト終了基準」を満たしており、市場化テストを終了することとし、当組織の責任において行うこととしたい。

終了後も、これまで官民競争入札等監理委員会における審議を通じて厳しくチェックされてきた公共サービスの質、実施期間、入札参加資格、入札手続きに関する事項を踏まえた上で、当館ホームページや官報による積極的な情報開示等により更なる競争性の改善に努め、引き続き公共サービスの向上、コストの削減を図る努力をして総合評価方式の一般的な入札に移行することとしたい。

(別紙)

アンケート結果一覧

年度	会場	区分	サンプル数	満足度			
				清掃状況	館内スタッフの対応	警備誘導状況	総括評価
27 年度	大ホール	東映時代劇の世界 Part 2	79	94.2%	97.1%	96.2%	95.8%
		EUフィルムデーズ 2015	95	96.4%	100.0%	100.0%	98.8%
		特集・逝ける映画人を偲んで2013ー2014	74	100.0%	96.4%	94.5%	97.0%
		第37回 PFF	10	100.0%	88.9%	62.5%	84.6%
		生誕110年 映画俳優 志村喬	90	100.0%	97.5%	94.9%	97.5%
		シネマの冒険 闇と音楽 2015	17	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
		生誕100年 オーソン・ウェルズ	44	100.0%	100.0%	96.8%	98.9%
		韓国映画1934-1959 創造と開花	122	100.0%	97.1%	99.0%	98.7%
		映画監督 三隅研次	103	97.9%	97.9%	97.8%	97.9%
		現代日本の映画監督4 根岸吉太郎	47	100.0%	100.0%	97.7%	99.2%
		計	681	98.5%	97.9%	96.9%	97.8%
	小ホール	アンコール特集2014年度上映作品より	10	85.7%	88.9%	87.5%	91.7%
		映画の教室2015	38	100.0%	97.0%	98.9%	98.9%
		キューバ映画特集	30	96.6%	100.0%	100.0%	98.9%
		計	78	98.5%	97.2%	98.6%	98.1%
	展示室	シネマブックの秘かな愉しみ	43	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
		生誕110年 映画俳優 志村喬	133	100.0%	100.0%	96.1%	98.7%
		キューバの映画ポスター	54	100.0%	100.0%	98.0%	99.4%
		計	230	100.0%	100.0%	97.2%	99.1%
	小計		989	98.9%	98.4%	97.1%	98.1%
28 年度	大ホール	生誕100年 木下忠司の映画音楽	154	100.0%	99.3%	98.6%	99.3%
		EUフィルムデーズ 2016	473	99.5%	99.1%	98.9%	99.2%
		生誕100年 映画監督 加藤泰	95	100.0%	100.0%	98.8%	99.6%
		第38回 PFF	78	100.0%	100.0%	98.7%	99.6%
		シネマの冒険 闇と音楽 2016	21	100.0%	100.0%	94.4%	98.1%
		UCLA映画テレビアーカイブ コレクション	35	100.0%	100.0%	96.9%	99.0%
		NFC所蔵外国映画選集2016	46	100.0%	97.6%	95.5%	97.6%
		DEFA70周年 知られざる東ドイツ映画	52	97.7%	95.5%	93.2%	98.4%
		現代日本の映画監督5 押井 守	82	96.3%	93.9%	91.5%	97.5%
		計	1,036	99.4%	99.2%	98.4%	99.0%
	小ホール	アンコール特集:2015年度上映作品より	40	100.0%	72.5%	97.2%	89.7%
		ドキュメンタリー作家 羽田澄子	35	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
		計	75	100.0%	85.1%	98.6%	94.4%
	展示室	写真展 映画館 中馬聰の仕事	161	99.4%	100.0%	99.3%	99.6%
		角川映画の40年	58	100.0%	100.0%	96.3%	98.8%
		戦後ドイツの映画ポスター	93	102.2%	102.2%	98.9%	100.4%
		計	312	100.3%	100.0%	98.7%	99.7%
	小計		1,423	99.6%	98.6%	98.5%	98.9%
合計			2,412	99.3%	98.5%	98.0%	98.6%